

## 平成 22 年度 第 10 回治験審査委員会開催記録の概要

1. 開催年月日 平成 23 年 1 月 12 日 (水) 16 : 46 ~ 17 : 37
2. 開催場所 2 階応接室
3. 出席者 根来臨床試験管理室長、井口副院長、近藤看護部長、高松総務部長、吉村診療部長、村山検査部長、奥川薬剤部長、辻本薬剤部次長、藤野消化器外科部長、重田検査技師長、浜田弁護士 (外部委員)
4. 審議事項 出席者数により治験審査委員会の成立が確認された後、順次申請事項について審議された。

### (1) 審議案件

#### 【I】新規・変更・その他

- ①研究名：中外製薬(株)の依頼による EGFR 遺伝子変異を有する非小細胞肺癌患者に対する一次療法としてのベバシズマブ+Ro50-8231(エルロチニブ)併用療法と Ro50-8231 単剤療法を比較する非盲検無作為化比較第 II 相臨床試験
  - ・審議内容：治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・判定：承認
  
- ②研究名：バイエル薬品(株)の依頼による肺癌患者を対象とした第 III 相臨床試験
  - ・審議内容：治験実施計画書および症例報告書(見本)の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・判定：承認
  
- ③研究名：ファイザー(株)の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ(ALK)遺伝子座に転座または逆位がある進行非小細胞肺癌(NSCLC)患者を対象として PF-02341066 と標準的 化学療法剤(ペメトレキセドまたはドセタキセル)を比較し、その有効性と安全性を評価する無作為化、非盲検第 3 相試験
  - ・審議内容：添付文書の変更、治験実施計画書(治験実施体制)の変更、SAE 報告基準の追加に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・判定：承認
  
- ④研究名：ファイザー(株)の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ(ALK)遺伝子座に転座または逆位がある進行非小細胞肺癌(NSCLC)患者を対象として PF-02341066 を投与した場合の有効性と安全性を評価する非盲検、単群、第 2 相試験
  - ・審議内容：治験実施計画書(治験実施体制)の変更、SAE 報告基準の追加に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・判定：承認
  
- ⑤研究名：大鵬薬品工業(株)の依頼によるプラチナ既治療非小細胞肺癌に対するティーエスワンとドセタキセルのランダム化比較第 III 相試験 (EAST-LC)

- ・ 審議内容：重篤な有害事象に関する報告書(第1報、第2報)に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・ 判定：承認

⑥研究名：グラクソ・スミスクライン(株)の依頼による切除可能な MAGE-A3 抗原陽性の非小細胞肺癌患者を対象とした術後補助療法としての AS15 アジュバント添加 recMAGE-A3 がん免疫療法剤の有効性を評価するための、二重盲検、無作為化、プラセボ対照、第Ⅲ相臨床試験

- ・ 審議内容：治験薬概要書の変更、重篤な有害事象のまとめ(別添)に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・ 判定：承認

⑦研究名：(株)ヤクルト本社の依頼によるゲムシタビン耐性膵癌に対する S-1 療法と S-1+ オキサリプラチン (L-OHP) 併用療法の無作為化比較試験

- ・ 審議内容：治験薬概要書の変更、治験実施計画書別紙 1 及び 2 の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・ 判定：承認

⑧研究名：(株)ヤクルト本社の依頼による胃癌患者を対象とした L-OHP の第Ⅲ相試験

- ・ 審議内容：重篤な有害事象に関する報告書(第1報)に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・ 判定：承認

⑨研究名：大日本住友製薬(株)の依頼によるアムルビシン塩酸塩の製造販売後臨床試験 (第Ⅰ/Ⅱ相)

- ・ 審議内容：重篤な有害事象の発現等も無く治験が終了したことが報告された。

- ・ 判定：承認

## (2) 安全性に関する情報の報告

①研究名：武田バイオ開発センター(株)の依頼による非小細胞肺癌を対象とした AMG706 の第3相試験

安全性に関する情報の報告書「平成22年12月3日」「平成22年12月20日」

②研究名：サノフィ・アベンティス(株)の依頼による進行固形がん患者を対象とした AVE8062 の3剤併用 第Ⅰ相臨床試験

安全性に関する情報の報告書「平成22年12月27日」

③研究名：ファイザー(株)の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたパクリタキセル/カルボプ

ラチン単独投与および CP-751,871 との併用投与の無作為化非盲検比較第 3 相試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 11 月 30 日」「平成 22 年 12 月 27 日」

- ④研究名：メルクセローノ（株）の依頼による EMD531444 の第 I/II 相臨床試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 14 日」
- ⑤研究名：日本イーライリリー(株)の依頼による扁平上皮癌を除く進行非小細胞肺癌に対するペメ  
トレキシドの製造販売後臨床試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 8 日」「平成 22 年 12 月 22 日」
- ⑥研究名：ファイザー(株)の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ（ALK）遺伝子座に転座または  
逆位がある進行非小細胞肺癌（NSCLC）患者を対象として PF-02341066 を投与した  
場合の有効性と安全性を評価する非盲検、単群、第 2 相試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 10 日」「平成 22 年 12 月 27 日」
- ⑦研究名：ファイザー(株)の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ（ALK）遺伝子座に転座または  
逆位がある進行非小細胞肺癌（NSCLC）患者を対象として PF-02341066 と標準的化  
学療法剤（ペメトレキシドまたはドセタキセル）を比較し、その有効性と安全性を評  
価する無作為化、非盲検第 3 相試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 10 日」「平成 22 年 12 月 27 日」
- ⑧研究名：グラクソ・スミスクライン(株)の依頼による切除可能な MAGE-A3 抗原陽性の非小細胞  
肺癌患者を対象とした術後補助療法としての AS15 アジュバント添加 recMAGE-A3  
がん免疫療法剤の有効性を評価するための、二重盲検、無作為化、プラセボ対照、第  
III相臨床試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 7 日」
- ⑨研究名：ファイザー(株)の依頼 による乳癌患者を対象とした HKI-272 単剤投与及び lapatinib  
とカペシタビンの併用投与による第 II 相無作為非盲検臨床試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 24 日」
- ⑩研究名：ファイザー(株)の依頼による早期乳癌患者を対象にトラスツズマブ術後補助化学療法後  
の HKI-272 投与による無作為化二重盲検プラセボ対照試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 24 日」
- ⑪研究名：ファイザー(株)の依頼による ErbB-2 陽性局所再発性又は転移性乳癌患者を対象とした  
HKI-272 とパクリタキセルの併用投与及びトラスツズマブとパクリタキセルの併用  
投与を比較する第 III 相無作為化非盲検 2 群対照試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 24 日」

- ⑫研究名：大鵬薬品工業㈱の依頼による転移性乳癌患者を対象とした ABI-007 毎週投与方法とドセタキセル 3 週ごと投与方法との比較第Ⅱ相試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 21 日」
- ⑬研究名：グラクソ・スミスクライン㈱の依頼による ErbB2 過剰発現を示す転移性乳癌患者を対象としたラパチニブとパクリタキセル週 1 回を併用した一次化学療法におけるオープンラベル第Ⅰ/Ⅱ相試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 13 日」
- ⑭研究名：第一三共株式会社の依頼による早期乳癌患者を対象としたデノスマブの第Ⅲ相試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 10 日」「平成 22 年 12 月 24 日」
- ⑮研究名：中外製薬㈱の依頼による RG3502 の HER2 陽性の局所進行・再発又は転移性乳癌患者を対象とした第Ⅱ相臨床試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 2 日」
- ⑯研究名：大鵬薬品工業㈱の依頼による S-1 の子宮頸癌に対する第Ⅲ相比較試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 15 日」
- ⑰研究名：エーザイ㈱の依頼による白金製剤感受性の初回再発卵巣癌患者を対象としたカルボプラチン及びタキサン系抗がん剤併用時の Farletuzumab(MORA b-003) 週 1 回投与の有効性及び安全性を評価する無作為割付け二重盲検プラセボ対照第Ⅲ相試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 22 年 12 月 24 日」

以上の安全性に関する情報が提出され、治験の継続実施の妥当性について特に異議なく、それぞれ承認された。